

卒業論文 2006 年度(平成 18 年度)

個体識別技術を活用した実空間におけるマーケティングツールに関する研究

慶應義塾大学総合政策学部

花崎 智弘

個体識別技術を活用した実空間におけるマーケティングツールに関する研究

論文要旨

本研究は、個体識別技術による新しいマーケティング手法についてその効果を明らかにする事を目的とした研究である。RFID 技術を用いた顧客の来店促進システムであるエリア DE スタンプラリーによる効果的なサービス実現の実現を目指す。

本研究では、2005 年に藤沢で行われたカフェ DE スタンプラリーの事例からエンターテイメントシステムの顧客に対して与える広告効果を見た後、2006 年実施の ORF 実証実験よりおサイフケータイによる実証実験からエンターテイメントサービスの導入効果について効果検証を行っていく。近年進むインターネット広告で用いられる手法をリアルな空間でも同様に用いる事が出来ると想定出来、調査・検証を進めていく。

研究の結果、エンターテイメントサービスを誘引に利用者の行動に影響を与える事が明らかになり、ここから得られた知見を広くリアル空間上でのマーケティング手法として確立する事ができる。

キーワード：

個体識別技術、モバイル、実空間、エンターテイメントサービス、インターネットマーケティング